



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月11日

上場取引所 東

上場会社名 アゼアス株式会社

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沼尻 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部部長 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成27年3月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	7,687	22.1	139	34.0	142	33.5	112	89.7
26年4月期第3四半期	6,298	△2.2	103	52.4	106	116.8	59	1,024.7

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 161百万円 (70.3%) 26年4月期第3四半期 94百万円 (220.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	18.52	18.47
26年4月期第3四半期	10.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	8,159	5,347	65.5
26年4月期	7,792	5,244	67.3

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 5,347百万円 26年4月期 5,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,483	16.7	148	25.0	147	21.4	104	33.6	17.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期3Q	6,085,401 株	26年4月期	6,085,401 株
27年4月期3Q	18,796 株	26年4月期	21,796 株
27年4月期3Q	6,064,322 株	26年4月期3Q	5,913,605 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 8
3. 補足情報	P. 8
(1) 仕入及び販売の状況	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策により企業収益の改善や株式市場の好転が見られるものの、円安進行に伴う物価上昇への不安と消費税増税後の消費マインド冷え込みの長期化、新興国経済の成長減速や地政学的リスクの不安感もあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間においては、主力事業の防護服・環境資機材事業における官公庁関連の大口需要への対応に加え、丸幸株式会社子会社化による影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,687百万円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益は139百万円（前年同四半期比34.0%増）、経常利益は142百万円（前年同四半期比33.5%増）、四半期純利益は112百万円（前年同四半期比89.7%増）となり増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、原子力発電所向け販売の減収に加え、一般産業向け需要も本格的な景気回復には至っておりませんが、官公庁関連の大口需要へ対応することができました。この結果、売上高は3,014百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益（営業利益）は221百万円（前年同四半期比6.2%増）となり増収増益となりました。

たたみ資材事業におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が大きく、売上高は1,172百万円（前年同四半期比8.4%減）と減収となり、また円安による仕入れコスト上昇の影響もあり、セグメント利益（営業利益）は26百万円（前年同四半期比50.2%減）と減益になりました。

アパレル資材事業におきましては、売上、利益とも丸幸株式会社子会社化による影響が大きく寄与し、売上高は2,492百万円（前年同四半期比68.1%増）、セグメント利益（営業利益）は120百万円（前年同四半期比22.2%増）となり増収増益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費の全社費用は261百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、6,316百万円となりました。これは、主として官公庁関連の大口需要への対応などで受取手形及び売掛金が535百万円増加し、現金及び預金が152百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、1,843百万円となりました。これは、主として遊休土地の売却や減価償却などにより有形固定資産が90百万円減少し、WEB受注システムの取得などにより無形固定資産が22百万円増加、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加等で投資その他の資産が19百万円増加したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて367百万円増加し、8,159百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.2%増加し、2,277百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が311百万円増加し、1年内償還予定の社債が70百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、535百万円となりました。これは、主として社債が55百万円増加したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、5,347百万円となりました。これは、主として利益剰余金が51百万円増加、その他の包括利益累計額が49百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の連結業績予想につきましては、平成26年6月11日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,660,987	1,508,614
受取手形及び売掛金	2,767,955	3,303,461
商品及び製品	1,093,975	1,113,935
原材料	236,794	249,966
その他	150,920	152,935
貸倒引当金	△10,143	△12,552
流動資産合計	5,900,490	6,316,361
固定資産		
有形固定資産	1,441,699	1,351,201
無形固定資産	93,225	115,619
投資その他の資産		
投資有価証券	183,388	218,323
保険積立金	97,631	99,103
その他	76,094	59,805
貸倒引当金	△324	△502
投資その他の資産合計	356,790	376,729
固定資産合計	1,891,716	1,843,550
資産合計	7,792,206	8,159,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,599,122	1,910,186
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	150,000	80,000
未払金	46,242	51,005
未払法人税等	30,680	9,165
賞与引当金	59,300	30,130
その他	149,514	183,100
流動負債合計	2,048,560	2,277,288
固定負債		
社債	180,000	235,000
退職給付に係る負債	214,701	176,243
役員退職慰労引当金	103,020	109,450
繰延税金負債	926	14,860
固定負債合計	498,647	535,553
負債合計	2,547,207	2,812,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,096,233	1,097,074
利益剰余金	3,167,863	3,219,552
自己株式	△2,876	△2,480
株主資本合計	5,148,865	5,201,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,847	59,430
為替換算調整勘定	61,285	85,848
その他の包括利益累計額合計	96,133	145,278
純資産合計	5,244,998	5,347,069
負債純資産合計	7,792,206	8,159,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	6,298,543	7,687,571
売上原価	5,116,679	6,334,571
売上総利益	1,181,863	1,352,999
販売費及び一般管理費	1,077,984	1,213,816
営業利益	103,879	139,183
営業外収益		
受取利息	437	484
受取配当金	3,557	5,087
受取賃貸料	1,980	2,035
その他	5,710	3,177
営業外収益合計	11,685	10,785
営業外費用		
支払利息	1,707	2,465
社債発行費	2,113	2,863
為替差損	4,842	1,782
その他	68	249
営業外費用合計	8,731	7,361
経常利益	106,833	142,606
特別利益		
固定資産売却益	13,148	2,380
投資有価証券売却益	-	271
特別利益合計	13,148	2,652
特別損失		
固定資産売却損	805	-
固定資産除却損	840	12
減損損失	2,155	91
特別損失合計	3,801	103
税金等調整前四半期純利益	116,180	145,156
法人税、住民税及び事業税	23,206	20,192
法人税等調整額	33,754	12,639
法人税等合計	56,960	32,831
少数株主損益調整前四半期純利益	59,219	112,325
四半期純利益	59,219	112,325

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,219	112,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,766	24,583
為替換算調整勘定	32,835	24,562
その他の包括利益合計	35,602	49,145
四半期包括利益	94,821	161,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,821	161,470
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,646,204	1,279,707	1,482,521	5,408,434	890,109	6,298,543	—	6,298,543
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,212	0	12,119	13,332	40,563	53,896	△53,896	—
計	2,647,417	1,279,708	1,494,641	5,421,767	930,672	6,352,440	△53,896	6,298,543
セグメント利益	208,565	53,334	98,848	360,748	27,256	388,004	△284,124	103,879

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△57千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△284,067千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,014,206	1,172,772	2,492,599	6,679,578	1,007,993	7,687,571	—	7,687,571
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,801	—	4,189	5,990	60,875	66,866	△66,866	—
計	3,016,007	1,172,772	2,496,789	6,685,569	1,068,868	7,754,437	△66,866	7,687,571
セグメント利益	221,574	26,553	120,770	368,898	34,675	403,574	△264,391	139,183

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△2,661千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△261,729千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年3月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と株主還元のため

2. 取得する株式の種類：普通株式

3. 取得する株式の数：200,000株(上限)

4. 株式取得価額の総額：140,000千円(上限)

5. 自己株式取得の期間：平成27年3月12日から平成27年7月31日まで

6. 取得方法：東京証券取引所における市場買付

3. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間において、アパレル資材事業の仕入及び販売の実績が前年同四半期と比較して著しく増加しております。これは、主として平成26年2月に丸幸株式会社を子会社化し連結の範囲に含めたことによるものであり、仕入実績は1,963百万円（前年同四半期比73.4%増）、販売実績は2,492百万円（前年同四半期比68.1%増）となりました。